

2年度 道徳科実践・研究計画

部 員	○小室真紀 佐々木恵 進藤亨 椎名美穂子 藤田峻 佐々木絵理子
-----	---------------------------------

研究テーマ
**道徳的価値に向き合い、より深く、より豊かに考え、
 自己の生き方を見つめ直す子どもを育む学び**

1 研究テーマについて

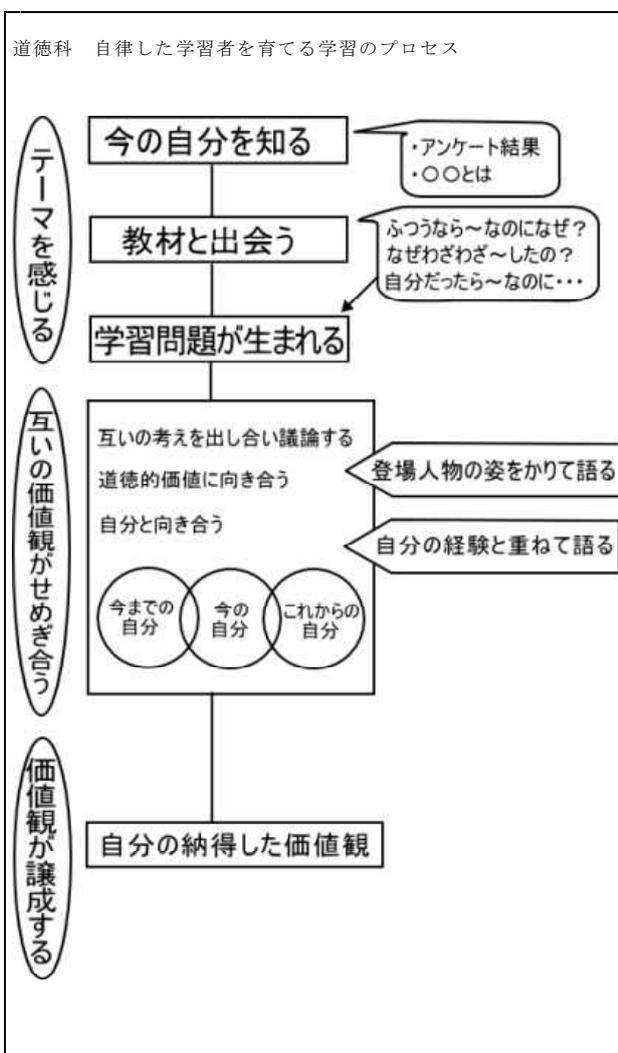
道徳的価値に真正面から向き合い、仲間の考えにふれる中で自身の考えを多面的・多角的に吟味し、自己の価値観を生み出し確立していく姿が、「特別の教科 道徳」（以下道徳科）での「自律した学習者」の姿である。一人一人が自分事として納得する道徳的価値観を見いだそうとする一つ一つの積み重ねが、生きていく上で自己を見つめ直す心のみちしるべとなっていくだろう。

「より深く、より豊かに考える」学びは、道徳的価値を自分事として考え「主体的」に学ぶ子どもの姿と仲間と自分の思考を往復させ「対話的」に学ぶ姿の両面が支えている。どちらが欠けても成り立たない。両者を融合させる根底には、「省察」する自分が流れている。道徳科での「省察」の場はすべてにある。教材を通して見えた道徳的価値を自分事として捉えるきっかけが子ども一人一人異なることの当たり前を、改めて意識の中に入れた上で、授業を組織化してきた。

子どもたちは、仲間の意見と自分の意見が相いれなかつたり対立したりする中で、自分の思考を錬磨していく。だからこそ、子どもにとって、価値がぶれることも受け止めながら子どもに委ねる授業の構築が課題となった。

道徳科の時間は様々な方向の関わりから感性が刺激を受ける。その刺激の核となっていくのが仲間との議論の場であることは、明確である。議論する中で、葛藤が生まれ、感動が呼び起こされ、批判が生まれる。自分の考え方・感じ方がゆさぶられ、自身の道徳的価値観がせめぎ合っていく。最終的に自分で決断するのが道徳の時間であるからこそ、自分を見つめ、自己の生き方を見つめていく姿に納得した道徳的価値観が根付いていく道徳科の時間を積み重ねていきたい。

道徳科における「学びをつなぎ、資質・能力を高めていく子どもの姿」を次のように捉える。



- ・教材の登場人物への共感的追求から広げ、その行為やその背景にある思いについて語り合う姿
- ・仲間の考えにふれる中で自身の考えを、多面的・多角的に吟味し、気づきを生み出しながら、自己の生き方を見つめ直す姿
- ・「対話」を通して道徳的価値を温め、自己の生き方の中で実現していこうという思いをもつ姿

2 研究の重点

(1) 多面的・多角的に自己の生き方を見つめることができる授業づくりの手立て

教材との出会いから自分事として捉えることで、自身が納得のいく道徳的価値観を生み出していくことに学びの心地よさを感じる子どもの姿を創造していきたい。そのためにも、仲間の考えにふれる活動そのものが、自身の考えを多面的・多角的に見つめることにつながる活動になるよう議論のテーマを工夫していきたい。自分の中の道徳的価値観がせめぎ合う中で、自身の考えが多面的・多角的に吟味され、道徳的「見方・考え方」を実感していく場となっていく。協働的な話合いや議論の場が、自己の生き方を見つめるきっかけとなったり道徳的価値学習の広がりや深まりを支えていこう。

授業の終末では、本時のねらいの根底にある道徳的価値に対する思いや考えをまとめる時間を設定する。1時間という短い時間では子どもの変容を見取ることはなかなか難しい。同じ道徳的価値を扱った教材を積み重ねていくことで学習過程が見えるような記録をファイルに集積して、子どもたち自身が道徳的諸価値に対する「見方・考え方」の変容を実感する場を大事にしていきたい。

(2) 子ども自身が問題意識をもつことができるための導入の工夫

子どもが進んで「考えたい」と思うような授業を展開したい。そのためには、教材を通して出会った道徳的価値と自己との関わりを意識した導入の工夫でありたい。子どもの直感的な気付き、疑問、悩みなどを吸い上げながら、自分事として追求したいというエネルギーを共有する場を大事にしていくことは、学びの高まりとなっていくだろう。道徳的価値を窓口に、考えていきたい方向性(テーマ)を感じ、自分事として捉えることで、自分の高まりにつながる「省察」の工夫を講じていきたい。

3 研究・研修計画

時 期	主な研究・研修行事	研究・研修内容
1 学期	・ 道徳部会 ・ P T A 授業参観での授業提示	・ 実践・研修の計画，部内組織の確立 ・ 小中連携 共同実践研究 ・ 年間指導計画の見直し
2 学期	・ 道徳部会 ・ 校内研 (10/27) 5年B組 ・ P T A 授業参観での授業提示	・ 小中連携 共同実践研究 ・ 実践・研究のまとめ ・ 年間指導計画の見直し
3 学期	・ 部内研修会 ・ 道徳部会	・ 授業を通して，研究の方向性の確認 ・ 重点事項の検証 ・ 年間指導計画の見直し ・ 次年度の実践・研究計画の立案(案)